



京 悠 会 たより

編集・発行元 社会福祉法人京悠会 埼玉県所沢市下富1206-1 TEL04-2990-1133



葵クリニック 開院しました



デイサービスセンターアオイ 開設しました

【 葵クリニック 】

脳神経内科・老年内科・内科 一般外来、各種健康診断

地域の皆さまの豊かな人生をお手伝いさせていただきたく、信頼されるホームドクターを目指します。



診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00～ 12:00	◎	◎	/	◎	◎	◎ 13:00まで
15:00～ 19:00※	◎	◎	/	◎	◎	/

休診日／水、日、祝日 ※18:00受付終了

所在地 〒359-0001 埼玉県所沢市下富1202-1

電話 04-2937-5221 FAX 04-2937-5220

【 デイサービスセンター アオイ 】

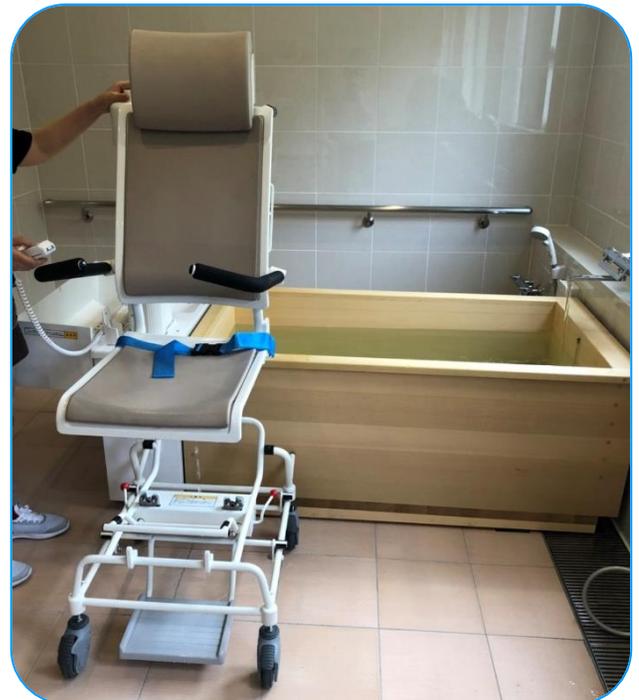
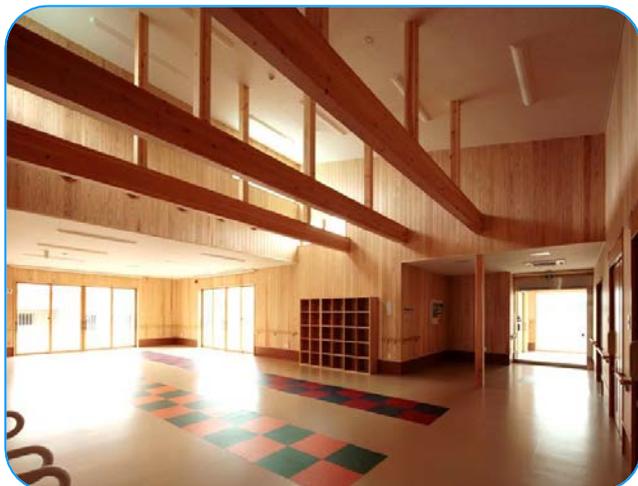
身体の健康

心の健康

食の健康

を楽しむ

7月1日、葵クリニック2階に『心・身体・食』の健康をテーマにした**デイサービスセンター アオイ**を開設いたしました。



平成15年に京悠会を創立し、お陰様で
一步一步着実に成長して参りました。

この度、葵クリニックの2階（特別養護
老人ホーム真和の森）となりにデイサービ
スセンターアオイを開設いたしました。

豊富な緑のなかに木で作りました広い空間とおしゃれなウッドデッキで、穏やかなひと時を楽しんでいただければ幸いです。

1階には医療サービスも充実しており、地域の皆様に安心と愛される施設運営を目指してスタッフ一同精進してまいります。皆様のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

デイサービスセンターアオイ 所長 三浦 芳彦

所在地 〒359-0001 埼玉県所沢市下富1202-1 2階

電話 04-2937-5233 FAX 04-2937-5220 メール aoi-day@kyoyukai.jp

【つれづれなるままに ～認知症を語る～】

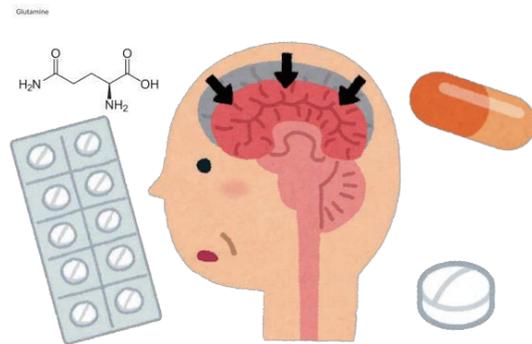
認知症の治療薬についてお話ししましょう（つづき） 第6回



油断はできない新型コロナウイルス禍

皆様お元気でいらっしゃいますか。陽気も初夏の様相をみせる一方で、梅雨の季節を迎え、時に高温多湿の汗ばむ候となっています。新型コロナウイルスを巡る緊急事態宣言も解除され、人々の動きも目立つようになってきていますが、まだまだ油断はできません。

さて今回は、前回の続きで、認知症のお薬について記していこうと思います。



認知症治療薬の4番手“メマリー”

前回は、認知症の治療薬として現在使われているお薬が4種類あって、そのうち3種類を説明しました。それは「コリンエステラーゼ阻害薬」と言うものでした。今回は、最後の1種類について説明しましょう。そのお薬の名は、メマリー®（メマンチン塩酸塩）といいます。なんだか、めまいがしてきそうな名前ですね。実はこの薬の副作用は、めまいが最も多いという…（笑）ことです。

さて、この薬はどのように効くのでしょうか？

うまみ成分グルタミン酸、実は・・・

人間の脳内には、グルタミン酸受容体の一つであるNMDA受容体というものがあり、それを部分的に拮抗し、神経を保護してくれます。ちょっとわかりにくくなってしまったので、ザックリいいますと、頭に悪いグルタミン酸から神経を守ってくれるのです。グルタミン酸は食品のうまみ成分でもあります。それが脳内に過剰にあり、興奮しすぎると、神経細胞に悪いという仮説があります。その作用をブロックしてくれるのですね。

メマリー®は、中等度～重度のアルツハイマー型認知症に使い、穏やかにする作用があるので、興奮症状がひどい方に使うと効果があります。普通は5mgからスタートし、一週間ごとに5mgずつ増やし、20mgが常用量となります。腎臓が悪い方や過鎮静になってしまう方には減量して使います。使い始めて翌日、眠くて仕方がないという方をよく見ますので、過鎮静には特に注意が必要です。

新しいお薬の候補は132種類もある

さて皆さん、認知症には治るお薬は本当にはないのでしょうか？ 病院で行っている治療は、対症療法に過ぎないといってもいいかもしれません。そのため、いま世界中の企業や研究所で認知症を治すお薬を開発しています。現在、新しい候補の薬は約132種類あるといわれています。今回は最後に、その一端を少しご紹介して終わろうと思います。

認知症とわかりやすいお薬の話



大田秀隆（おおたひでたか）
秋田大学高齢者医療先端研究センター長・教授

東京大学大学院医学研究科加齢医学を修了し、医学博士を取得。ハーバード大学MGH客員研究員、東京大学医学部附属病院老年病科・助教、特任講師を経て、平成27年より日本医療研究開発機構(AMED)、厚生労働省老健局に勤務され、平成30年から現職に至る。

アミロイドβ減少させる新薬の研究が進む

アルツハイマー型認知症という病気は、脳の中にアミロイドβ（ベーター）という悪いたんぱく質が加齢とともに蓄積していきます。大体早い人では症状はなくても、40歳代には脳の中で蓄積が始まっているといわれています。これが脳に貯まると毒なわけです。そのために、これを減少させるような新しい薬の開発が進んでいます。

その一つがアミロイドβ産生自体を減らす方法、もう一つが蓄積しやすい（凝集傾向が強い）ものを選択的に減らす方法、そして最後に、免疫（ワクチンや抗体薬）を使って除去する方法があります。これらのうち、前者2つについては、認知症には効果がないという結果になっています。



ところが3つ目の免疫を使う方法は少しずつ成果が出てきているのです！ 今から約20年前、アメリカで認知症の方にワクチンを投与したことがありました。その研究では、約6%の人が副作用として脳炎を発症し、研究は中止になってしまいました。しかも6年間も投与して、認知症の症状の進行が止まらなかったのです。そこから反省し、認知症の症状がでる前に投与をしたほうがいいのではないかと。つまり、症状が出る10年も20年も前からこういった薬を投与してはどうかというわけです。

注目される新薬「アデュカヌマブ」

もちろん、最初のころよりも人にやさしいように薬は改変されています。そういった薬の中で、「アデュカヌマブ」という薬の効果が注目されています。

2016年に非常に早期のアルツハイマー型認知症の患者に、点滴で投与したところ、副作用もほとんどなく（ゼロではない）、脳内のアミロイドβの減少と認知機能の悪化がみられなかったのです。関係する皆さんがついに治療薬ができると期待しているのです。

効果なしから改善の効果実証…

しかし、その後、大規模に試験を行ったところ、やっぱりこの薬は効果がなかった…、ということで世界中をがっかりさせました。ところが昨年、この薬を高容量で投与した被検者には、認知機能の改善に効果があった！という結果が出たのです。その後、専門家の間では「本当に効果があったの？」と批判にさらされていますが、アメリカでは実用化に向けて開発が進んでいるようです。

近い将来、完全には若いころのような認知機能には戻れないけれども、こういった薬で症状の進行は押さえられるようになるかもしれません。ただし、認知症を発症してからでは手遅れで、症状が出る前に使用しないといけないというのは、ちょっとだけないと思いませんか。さて皆さん、こういったお薬が出てきたら、自分にも使ってみたいと思われませんか？

今回は、認知症の症状を悪くさせない方法を皆さんといっしょに考えてみたいと思います。

【京悠会における感染症防止対策について】

1月から現在までの動き

1月～

インフルエンザ流行時期、面会制限を実施

2月～

新型コロナウイルス感染症が拡大へ

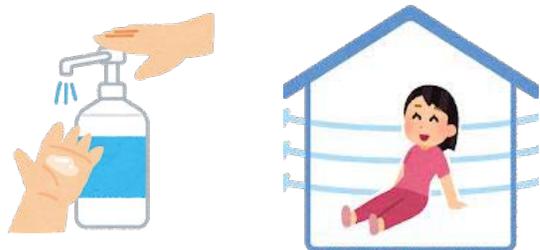
職員の感染症緊急勉強会開催、注意喚起

3月～

クルーズ客船での新型コロナウイルス感染症罹患者の急増、備蓄品の確認、強化

4月16日 緊急事態宣言が全国に発令

5月25日 解除



感染症防止対策

目に見えない病原体にどう向き合うのか

・未確定の情報の中で、通常の感染症対策

①感染症に罹患しない

②施設へ持ち込まない

③人に移さない

上記、3項目を心がける・職場での利用者、職員の行動制限

・プライベート時も不要不急の外出自粛要請

・利用者、職員の手洗い・うがい・マスクの着用・ポリエステル手袋・手指消毒の徹底

・面会を長期にわたって制限

・出入り業者の方など玄関先で検温後、対応

・3密を防ぐため 朝礼、委員会、勉強会などリモートでの会議を実施

・施設内午前、午後のアルコール及び次亜塩素酸ナトリウム消毒

・1時間毎に窓を開放し換気

・常時換気扇の作動

・食堂での集まり禁止

・利用者、職員のお食事はベランダやフロアの一角で、それぞれの食事

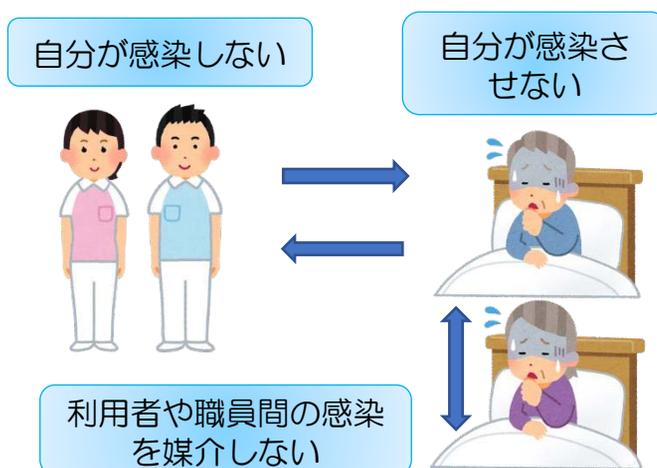
・出来る限りのソーシャルディスタンスとパーソナルスペースの確保

・向き合った事務所の机のレイアウトの変更などなど考えられる対応策を実施しました。



そうした中、近くの医療機関でクラスター（集団感染）が発生、障害者施設や高齢者介護施設でも感染発生を聞き、いつ当施設で発生してもおかしくないと怯える日々でした。

また、施設の入所者様に長期の面会制限を行うことは、利用者様やご家族様にご心配やご負担をかけることになりましたが、お楽しみのレクリエーションやお誕生日会などの行事を行い、ご家族様にその動画や写真をお送りしました。



これからもアルコール、ポリエステル手袋、ペーパータオル、マスクなどの衛生消耗品不足が懸念される中、知恵と工夫で、手づくり、節約などで凌ぎながら、新型コロナウイルスの感染防止に向け長期戦を覚悟し、気を緩めることなくしっかりと対応してまいります。



真和の森 ころころの相続



～S様の最期に寄り添って～ ユニットリーダー介護福祉士 神田暢子

私が、介護の仕事に就いてから7年が経ちました。ここ数年で従来の介護の考え方が大きく変わってきていることを肌で感じるようになりました。とりわけご利用者様の最期について高齢者介護施設での「看取り」が増えている昨今、人の「人生、死」を考えることから、今や避けて通れないことを感じました。しかし、介護職である私はどうしても死に向き合うことに恐怖感を抱いてました。そんな時、S様とご家族様に関わることになりました。

S様は開設当初からの入所者で、立位不能でしたが、体動は活発で、転倒防止のため床にマットを敷いて対応していました。食事も自力摂取されていましたが、食べこぼしが多く、エプロンだけでなくアームカバーも付けていました。時々、手を口の中に入れて口腔内を傷付けてしまうため手袋を使用するなど、とても介護度の高い方でした。



お孫様と幸せなひと時

ご家族様は協力的で、首元が汚れないようにスタイを手作りしてくださったり、娘様が毎週のようにお孫様を連れて食事介助に来ていました。いつもS様の傍らでお孫様が遊んだりして、その姿を目で追いながらニコニコと笑顔浮かべ、S様にとって幸せなひとときだったと思います。

しかし、徐々に認知症も進み、食事も介助することが多くなりました。ご家族様も悩まれた末に当施設での看取りを選択され、仕事の合間を見つけてはS様の食事介助をしに来園されていました。ある日、食事介助をしても舌で食べ物を押し出してしまうようになり、私達も色々と試しましたが徐々に召し上がれなくなっていきました。

それでも声かけすると笑顔が見られましたが、徐々に眠ることが多くなり、ある晩、永遠の眠りに旅立ちました。娘様とお孫様が来園され最後のお別れをしました。その時に話された娘様の言葉が忘れられません。

お孫さんの元気な声を聴きながら

「本当に長い間、お世話になりました。手のかかる母でしたが皆さんに良くして頂いて感謝しております。ありがとうございました。」もちろん娘様には深い悲しみもあったと思いますが、それ以上に大切なお母様を最後まで施設の職員と共に看取れたという満足感のようなものを感じることができました。その傍らでお孫さんの元気な声が聞かれ、S様はその声に癒やされておられたのだとも思いました。



死を目前にして

「死」を目の前にして怖さを感じていた私でしたが、この経験を通して自分自身の役割を明確に理解することができたのです。ご利用者様の最期をころころ穏やかに迎えられるように、少しでも手助けできればという気持ちになりました。

新しい仲間の紹介

「真和の森に新しい仲間が増えました」🌸🐣

2階テラスにある植木の影に“ハクセキレイ”が卵を産み、先日無事に元気な雛が孵っていました！

口を大きく開けて餌を待っている姿が可愛らしく、利用者様と一緒に新しい真和の森の仲間の成長を温かく見守っています。



お母さん
お腹がすいた
ピヨ～

母の日 in 真和の森



母の日イベントでは特別な食事とケーキを召し上がっていただきました。

新茶は綺麗な緑色で甘みが際立ち和菓子とともに春を味わいました。



円野お楽しみ選択食



左の写真が、嚥下機能の低下した利用者様が召し上がるメニューで一つ一つ素材を活かした「極きざみ特上寿司」です。大将の技と工夫が光ります。

編集後記

今年は2月から新型コロナウイルスの感染が始まり現在も様々な制限と恐怖の中で様変わりしてしまった暮らしを皆様もお過ごしのことと思います。今ほど『普通』という言葉の大切さを感じたことはありません。懐かしくさえ思えます。ご家族様と利用者様は自由に会うことができないことに心苦しく思いながら、緊張しすぎず、気を緩めすぎず、利用者様と職員の生活を安全に守りたいと考える今日この頃です。 編集室一同のつびやき

葵クリニック

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1202-1
TEL04-2937-5221 FAX04-2937-5220

デイサービスセンター アオイ

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1202-1 2階
TEL04-2937-5233 FAX04-2937-5220

障害者支援施設 円野

〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458
TEL042-975-3300 FAX042-975-3311

特別養護老人ホーム 真和の森

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1206-1
TEL04-2990-1133 FAX04-2990-1144

<http://www.kyoyukai.jp/>